

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (7/11時)

教師と児童のやり取りの詳細

3位数÷2位数のつかむ段階において、前時までの2位数÷2位数の計算の仕方を発展させ、本時の問題となる $153 \div 24$ の計算の仕方への見通しをもたせる場面。



前の時間は、 $87 \div 25$ の筆算の仕方を学習しましたね。どのようにして計算しましたか？

わられる数の「87」を「80」や「90」とみて、わる数の「25」を「20」や「30」とみました。そして、 $80 \div 20$ や $90 \div 30$ をしました。



$80 \div 20$ や $90 \div 30$ にすると、どうなりますか？

10を基にすると九九で計算できるから、計算が簡単になります。



だったら、式の数が大きくなっても計算できそうですか？

今日の問題は何だろう。数が大きくなってもできるかな。



・前時から数範囲を拡張させた3位数÷2位数の導入時のつかむ段階において、前時までの2位数÷2位数の筆算の仕方を振り返るようにします。そうすることで、数範囲を拡張した問題を提示しても抵抗感を下げることができます。また、筆算の仕方への見通しをもたせやすくなります。



今日の問題は $153 \div 24$ です。できそうですか？

わられる数が百の位まであるよ。



$150 \div 20$ とみると、できそうです。



$150 \div 20$ とみても、わられる数は百の位まであるけど計算できるでしょうか？

10を基にすると…



〇〇さんが、何を言おうとしているのか分かりますか？隣の友達と相談してみましょう。



・本時の課題解決につながりそうな発言は、全てを話さずに、続きを考えさせたり、隣の友達などと相談させたりすることが大切です。1人の児童の発言で進めるのではなく、いろいろな児童の発言を取り上げたり、引き出したりすることで、学級全体の考えとして共有することにもつながります。

10を基にすると九九で計算できる $15 \div 2$ になるから、前の時間と計算の仕方は同じです。



前の時間と計算の仕方は同じになりそうですね。では、前の時間と同じように筆算でもできるのかを考えてみましょう。



・この後自力解決の段階では、児童が商の立つ位置をどこにしているのかを見取るようにしましょう。